

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス豊見城教室別館			
○保護者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の活動について固定化しないように工夫している。	事業所に来る目的を理解しながら、活動が固定化しないように運動療育のほか、平日でも公園活動や施設見学を取り入れたり飽きの来ないように工夫している。	土曜日のイベントについては事前に計画しているが、日々の活動や長期イベントに関しては、その日の状況に合わせて出来る活動を提供したり、臨機応変に動き回れるように体制を整えていきたい。
2	通所を楽しんでいると思える。	信頼関係づくりを大事にし、できることできないこと、やっていいことだめなことの基準を作り、職員が共通理解の元支援を行っている。	今後も信頼関係づくりに努めながら、一人一人が安心して楽しみに通ってもらえるように誠実に対応していく。
3	定期的にSNSの配信を行い、活動の様子を随時伝えている。	日々の活動をオフィシャルLINEにて配信している。それ以外にも定期的にブログ更新を行っている。写真の個人情報には十分に配慮しつつ、写真掲載する子どもに偏りが無いようまんべんなく活動報告を行っている。	今後は、Instagramも活用しながら、活動写真の配信だけでなく、運動遊びの内容や子育てに役立つ情報なども配信できるように取り組んでいきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会等の実施に至っていない。	教室の建物の都合上、広さや駐車場の確保に検討時間が必要であるため、開催に至っていない。	今後は、療育参観ウィークと題して、少人数で希望者を募り、事業所でのこどもの様子を見学しつつ、保護者同士が交流できるような取り組みを行っていきたい。学齢児ならではの悩みにこたえられるように職員の知識の向上も図っていく。
2	地域の子どもや放課後児童クラブなどとの交流会を開催できていない。	公園活動などで地域の子ども達と関わりあうことはあったが、個人情報の兼ね合いもあり交流会イベントとして開催したことは無かった。	地域の子ども達との交流を図るべく、事業所へ招待したり、他施設へ遊びに行くなど、個人情報保護に配慮しながら、積極的に交流を図れるように工夫していきたい。
3	家族支援や面談の機会があることを保護者へ周知していない。	家族支援や随時面談を受付していることを保護者へ積極的に周知していないので、わからない保護者が多い。日々の申し送りや相談の中で必要に応じて対応はしているが、いつでも直接相談や電話・LINE等での相談ができる雰囲気づくりが伝わっていないかった。	定期的にオフィシャルLINEで活動スケジュールを共有しているの、その文面に子育てに役立つ情報を盛り込んだり、随時面談を受付している旨を記載し周知し、いつでも話しやすい雰囲気づくりに努める。